

○第2回 新型コロナウイルス感染症の影響下における生活意識・行動の変化に関する
調査 調査項目

事前Q1 居住地

- ①お住まいの都道府県(47都道府県プルダウン)
- ②お住まいの市区町村名()

事前Q2 あなたが同居している方を全て選んでください。あなたとの関係(続柄)でお答えください。

1. 誰とも同居していない(一人暮らし)
2. 配偶者
3. 18歳未満の息子・娘
4. 18歳以上の息子・娘
5. 父母(配偶者の父母を含む)
6. 祖父母(配偶者の祖父母含む)
7. 孫
8. 兄弟・姉妹(配偶者の兄弟・姉妹含む)
9. その他(具体的に)

事前Q3. あなたの婚姻状況をお答えください。

1. 未婚
2. 既婚
3. 離別
4. 死別

事前Q4. あなたの職業・学業について、主なもの1つを選んでください。

1. 正規雇用(労働契約の期間の定めがなく、労働時間がフルタイムのもの)
2. 非正規雇用(正規雇用以外のパート、アルバイト、契約・派遣社員、有期労働者など)
3. 会社などの役員
4. 自営業(手伝いを含む)
5. 内職・在宅ワーク
6. 学生(高校生、専門学校生、短大生、大学生、大学院生等)
7. 休業中
8. 無職(求職中)
9. 無職(求職していない)

【就業者の方】

就業者Q5. 働き方に関する意識の変化についてお聞きします。昨年 12 月(新型コロナウイルス感染症(以下、感染症という)拡大前)に比べて、ご自身の「仕事と生活のどちらを重視したいか」という意識に変化はありましたか。

1. 感染症拡大前よりも、生活を重視するように変化
2. 感染症拡大前よりも、仕事を重視するように変化
3. 変化はない
4. わからない

就業者Q6. 昨年 12 月(感染症拡大前)に比べて、職業選択やその希望は変化しましたか。該当するもの全てに回答してください。

1. 変化していない
2. まだ具体的ではないが将来の仕事・収入について考えるようになった
3. 希望する就業先や異動先が変化した
4. 副業を持った
5. 新たに副業を検討しはじめた
6. 転職した
7. 新たに転職を検討しはじめた
8. その他(具体的に)
9. わからない

(就業者Q6で1以外を選んだ人)

就業者Q6-2. 職業選択やその希望が変化した理由は何ですか。重要なものから順に選んでください。(最大3つ)

1. 感染症の影響下において収入が減少したから
2. 感染症の影響下において仕事のやりがいを感じづらくなったから
3. 感染症の影響下において仕事が多忙を極めたから
4. 感染症を契機に、人口過密な地域を離れたいと考えたから
5. 感染症を契機に、「仕事と生活のどちらを重視したいか」という意識が変化したから
6. 感染症を契機に、新たなチャレンジを試してみたいと考えたから
7. その他、感染症に関係する理由

8. 感染症と関係無い理由
9. 特にない
10. わからない

就業者 Q7 副業の実施状況について、該当するもの全てに回答してください。

1. 副業に関心が無く、行っていない
2. 副業に関心があるが、行っていない
3. 本業とは別の企業・法人に雇用されている(主に専門知識や経験を生かす目的等)
4. 本業とは別の企業・法人に雇用されている(主に収入目的等)
5. 本業とは別に、個人で事業を実施している(主に専門知識や経験を生かす目的等)
6. 本業とは別に、個人で事業を実施している(主に収入目的等)
7. 本業とは別に、NPO 活動・地域活動などの社会貢献活動を実施している
8. その他(具体的に)

(Q7 で「2」を回答)

就業者 Q7-2 副業に関心があるが行っていない理由として、該当するもの全てに回答してください。

1. 本業の勤務先で副業が許されていないため
2. 本業の勤務先での人事評価等に影響しないか不安
3. 本業と副業を両立できるか不安
4. 適当な副業が見つからない
5. どのような副業に取り組みばよいかまだ検討中
6. その他(具体的に)
7. わからない

就業者 Q8 (本業の)勤務先の制度で、副業は許容されていますか。

1. 許容されている
2. 例外的に許容される場合がある
3. 禁止されている
4. 許容・禁止が曖昧である
5. 制度を知らない・わからない

6. その他(具体的に)

(Q8で「2」か「3」を選択した人に質問)

就業者 Q8-2 (本業の)勤務先の制度で、副業を許容しない理由は何だと考えますか。(最大3つ)

1. 副業をどの程度許容して良いか判断がつかないから
2. 生産性や売上が落ちると考えているから
3. 人材流出の懸念があるから
4. 労務管理が困難だから(通勤手当、労災の適用範囲等)
5. 利益相反や情報漏洩を懸念しているから
6. その他(具体的に)
7. わからない

就業者 Q9. 昨年 12 月(感染症拡大前)と比べて、労働時間はどのように変化しましたか。

昨年 12 月(感染症拡大前)の労働時間を 100 とした場合の数字でお答えください。例えば、労働時間が 2 割減少した場合は「80」、1.3 倍になれば「130」となります。上限を「200」としてお答えください。

- ① 本年5月(緊急事態宣言下)の労働時間
- ②現在の労働時間

就業者 Q10. 昨年 12 月(感染症拡大前)と比べて、仕事の生産性はどのように変化したと感じましたか。

昨年 12 月の仕事の生産性を 100 とした場合の数字でお答えください。例えば、仕事のパフォーマンスが 2 割減少した場合は「80」、1.3 倍になれば「130」となります。上限を「200」としてお答えください。

- ①本年5月(緊急事態宣言下)の生産性
- ②現在の生産性

就業者 Q11. 昨年 12 月(感染症拡大前)と比べて、1週間の中で通勤にかかる時間はどのように変化しましたか。

1. 概ね変化無い(5%減少~5%増加)
2. やや減少(6%~20%減少)

3. 減少(21%～50%減少)
4. 大幅に減少(51%以上減少)
5. やや増加(6%～20%増加)
6. 増加(21%～50%増加)
7. 大幅に増加(51%以上増加)
8. わからない

就業者 Q12 現在の通勤時間を今後も保ちたいと思いますか。

1. 保ちたい
2. どちらかというと保ちたい
3. どちらかというと保ちたくない
4. 保ちたくない
5. わからない

就業者Q13. 以下の時点における働き方を全て回答してください。

<昨年12月(感染症拡大前)>、<本年5月(緊急事態宣言下)>、<現在>

1. テレワーク(ほぼ100%)
2. テレワーク中心(50%以上)で、定期的に出勤を併用
3. 出勤中心(50%以上)で、定期的なテレワークを併用
4. 基本的に出勤だが、不定期にテレワークを利用
5. 週4日、週3日などの勤務日制限
6. 時差出勤やフレックスタイムによる勤務
7. 特別休暇取得などによる勤務時間縮減
8. 休業(自宅待機等を含む)
9. その他(具体的に)
10. いずれも実施していない

就業者Q14. 感染症拡大を契機として、職場での働き方(web会議の積極的活用やペーパーレス化など)がテレワークに適したものと改善されましたか。

1. 大幅に改善した
2. やや改善した

3. あまり改善していない
4. 全く改善していない
5. わからない

就業者 Q15. 感染症拡大後、あなたの職場において、テレワークのための業務改善として取り組まれたものについて、あてはまるものを全て回答してください。

1. テレワークできない又は合わない職種である(対面サービス、製造、輸送、建設工事等)
2. 社内の打合せや意思決定の仕方の改善
3. 顧客や取引先との打合せや交渉の仕方の改善
4. 社内外の押印文化の見直し
5. 書類のやりとりを電子化、ペーパーレス化
6. 現金を重視した手続き、習慣の見直し
7. 社内システムへのアクセス改善
8. 仕事の進捗状況の確認や共有の仕方の改善
9. その他(具体的に)
10. 特にない
11. わからない

就業者Q16. あなたの通常業務(感染症拡大前の業務)全体のうち、以下の割合を回答して下さい(合計が100%になるように回答して下さい)。

Q16-① 問題なくテレワークできる業務 【0%】 ※10%刻みのプルダウンで選択

Q16-② 生産性はやや低下するがテレワークできる業務 【0%】

Q16-③ 職場の働き方を見直せばテレワークできる業務 【0%】

Q16-④ 職場の働き方を見直してもテレワークできない業務 【0%】

<テレワーク経験者>

就業者Q17. 以下の点について、テレワークによるメリットだと感じたものを全て回答してください。

1. 通勤が不要になる(心身の負担軽減、自由時間等が増えるなど)
2. 休憩時間・隙間時間を有効活用できる(家事・育児等がしやすくなるなど)

3. 作業に集中できる(社内外からの問い合わせや相談が少ないなど)
4. 息抜きや気分転換がしやすい(音楽を聴く、ストレッチをするなど)
5. 新しいアイデアを生み出しやすくなる(リラックスした雰囲気ですぐに考えられるなど)
6. 職場の人間関係のストレスが軽減される
7. その他(具体的に)
8. 特になし
9. わからない

＜テレワーク経験者のうち、緊急事態宣言下(5月時点)と比較して、現在のテレワーク実施頻度が減少した者＞

就業者 Q18. 現在テレワークの実施頻度が減少した(又は中止した)理由は何ですか。

1. 職場のテレワーク実施方針が変化した
2. 職場の雰囲気が変化した(職場の方針は変化していない)
3. 自分自身のテレワーク実施希望の変化(職場の方針は変化していない)
4. その他(具体的に)
5. わからない

＜テレワークを実施した者＞

就業者 Q19. あなたの職場において、テレワークで不便な点と考えられるものに関し、重要なものから順に回答してください。(最大3つ)

1. テレワークできない又は合わない職種である(対面サービス、製造、輸送、建設工事等)
2. テレビ通話の質の限界(タイムラグ、音声や映像の乱れ等)
3. 取引先等とのやりとりが困難(機器、環境の違い等)
4. 機微な情報を扱い難いなどのセキュリティ面の不安
5. 通信費の自己負担が発生
6. 社内での気軽な相談・報告が困難
7. 画面を通じた情報のみによるコミュニケーション不足やストレス
8. 大勢で一堂に会することができない
9. 在宅では仕事に集中することが難しい住環境
10. 同居する家族への配慮が必要
11. 仕事と生活の境界が曖昧になることによる働き過ぎ

12. その他(具体的に)
13. 特にない
14. わからない

＜テレワークを実施した者＞

就業者 Q20.あなたがテレワークを実施するにあたって工夫したこととして、あてはまるものを全て回答してください。

1. テレワーク実施場所の変更(自宅以外のカフェやコワーキングスペースなどの利用)
2. 自宅の模様替え(机や椅子の新調、ワーキングスペースの確保など)
3. 通信環境の整備(ブロードバンドやWiFiの導入など)
4. PC周辺環境の整備(プリンター、ディスプレイの導入など)
5. 効率的な利用方法の学習(テレワークに関するセミナーの受講など)
6. 集中できる環境づくり(服を着替える、時間割の作成、音楽を聴くなど)
7. 適度な運動の実施(テレワーク中の隙間時間を活用したウォーキング、ストレッチ等)
8. その他(具体的に)
9. 特にない

就業者Q21. 今後、どの程度の頻度でテレワークを利用したいですか。

1. 完全にテレワーク
2. テレワーク中心(50%以上)で、定期的に出勤を併用
3. 出勤中心(50%以上)で、定期的なテレワークを併用
4. 基本的に出勤だが、不定期にテレワークを利用
5. 職場はテレワーク利用が可能だが、利用したくない
6. テレワーク利用は困難(業務内容が即さない)
7. わからない

就業者Q22 自身で休暇を取得し、自費でリゾート地や観光地等に滞在中に、余暇を楽しみながら仕事(テレワーク)を行うという「リゾートワーク型(休暇型)」等と言われるタイプのワーケーションについて、どのように感じますか。あてはまるものを全て回答してください。

1. 仕事がある時でも家族旅行ができそう
2. 仕事がある時でもリゾート地等に長期滞在ができそう

3. リゾート地等でのテレワークはリフレッシュできそう
4. 業務の性質上、難しそう(テレワークできない業務等)
5. 観光地等で仕事に集中できるか不安
6. リゾート地や観光地等でまで仕事をしたくない
7. その他(具体的に)
8. わからない

就業者23 リゾート地や観光地等に滞在中に、余暇を楽しみながら仕事(テレワーク)を行うというワーケーションのうち、今後、実施してみたいものを全て回答してください。

1. リゾートワーク型のワーケーション(自費で休暇中にテレワークする)
2. 企業が費用負担する研修型のワーケーション(グループワーク等を行う)
3. サテライトオフィス型のワーケーション(地方のサテライトオフィス等で、通常の勤務時間に通常と同様の業務を行う)
4. プレジャー型(出張先等で、滞在期間を延長して余暇を楽しむ)
5. 実施したいものは無い
6. わからない

【子育て世帯の方】

親Q24. 昨年 12 月(感染症拡大前)と比べて、配偶者(あなたの夫又は妻)の働き方に変化はありましたか。該当するもの全てに回答して下さい。

1. テレワークの利用・利用増加
2. 労働時間の柔軟化(時差出勤、フレックスタイム等)
3. 労働時間の減少
4. 労働時間の増加
5. その他の変化(具体的に)
6. 変化は無い

親 Q25. 昨年 12 月(感染症拡大前)と比べて、家族と過ごす時間はどのように変化しましたか。

1. 概ね変化無い(5%減少～5%増加)
2. やや減少(6%～20%減少)
3. 減少(21%～50%減少)
4. 大幅に減少(51%以上減少)
5. やや増加(6%～20%増加)
6. 増加(21%～50%増加)
7. 大幅に増加(51%以上増加)
8. わからない

親 Q26. 現在の家族と過ごす時間を今後も保ちたいと思いますか。

1. 保ちたい
2. どちらかというと保ちたい
3. どちらかというと保ちたくない
4. 保ちたくない
5. わからない

親Q27 昨年 12 月(感染症拡大前)と比べて、家事・育児に費やす時間はどのように変化しましたか。昨年 12 月の家事・育児時間を 100 とした場合の数字でお答えください。例えば、家事・育児時間が2割減少した場合は「80」、1.3 倍になれば「130」となります。上限

を「200」としてお答えください。

- ①感染症拡大前の家事・育児時間を 100 とした時の本年5月(緊急事態宣言下)の家事・育児時間
- ② 感染症拡大前の家事・育児時間を 100 とした時の現在の家事・育児時間

親 Q28. 昨年 12 月(感染症拡大前)と比べて、家事・育児に関する夫妻間の役割分担に変化がありましたか。

1. 感染症拡大を契機に役割分担が変化したが、現在は概ね元に戻っている
2. 感染症拡大を契機に役割分担が変化し、現在もその変化が概ね継続している
3. 感染症拡大を契機とした役割分担の変化は無い
4. その他(具体的に)
5. わからない

(Q28で「3」以外を選択)

親Q29. 昨年 12 月(感染症拡大前)と比較した際の、家事・育児に関する夫妻間の役割分担の変化について、該当するものを回答してください。〈現在〉

1. 夫の役割が増加
2. 夫の役割がやや増加
3. 妻の役割が増加
4. 妻の役割がやや増加
5. 夫・妻ともに役割が増加
6. 夫・妻ともに役割が減少

(Q28で「3」以外を選択)

親Q30 家事・育児に関する夫妻間の役割分担が変化して、夫妻の関係はどのように変化しましたか。

1. 夫妻の関係が良くなった
2. 夫妻の関係がやや良くなった
3. 夫妻の関係は概ね変化無い
4. 夫妻の関係がやや悪くなった
5. 夫妻の関係が悪くなった

6. わからない

(Q28で「1」を選択)

親 Q31. 感染症拡大を契機に変化した役割分担が元に戻った理由について、あてはまるものの全てに回答してください。

1. 自分の職場の変化
2. 自分の意識・気持ちの変化
3. 配偶者の職場の変化
4. 配偶者の意識・気持ちの変化
5. 子供の環境の変化(学校再開等)
6. 自然な成り行き
7. その他(具体的に)
8. わからない

親Q32. あなたの子供のうち、小学生以上で一番年齢の低い子供について回答してください。

直近1ヵ月において、あなたの子供が経験した教育を全て回答してください。

1. 学校の先生からオンライン授業を受けている
2. 学校の先生からオンライン上の学習指導(メール等)を受けている
3. 学校から家庭用のオンライン教材の提供を受けている
4. 学校以外の塾や習い事でオンライン授業を受けている
5. 学校以外の塾や習い事でオンライン上の学習指導(メール等)を受けている
6. 学校以外の塾や習い事でオンライン教材の提供を受けている
7. その他のオンライン教育を受けている
8. オンライン教育を受けていない
9. わからない
10. 小学生以上の子供はいない

親Q33. あなたの子供のうち小学生以上で一番年齢の低い子供について回答してください。

今後、どの程度の頻度で学校のオンライン教育を利用してみたいですか。

1. オンライン教育中心(50%以上)で、対面教育を併用

2. 対面教育中心(50%以上)で、オンライン教育を併用
3. 基本的に対面教育だが、不定期にオンライン教育を利用
4. 完全に対面教育
5. わからない
6. 小学生以上の子供はいない

【学生(大学生・高校生等本人)の方】

学生Q34. 感染症拡大を契機として、学習意欲(前向きに学習に取り組もうと言う気持ち)は変化しましたか。

1. 高まった
2. やや高まった
3. 概ね変化無い
4. やや低下した
5. 低下した
6. わからない

学生Q35. 昨年12月(感染症拡大前)に比べて、学習時間(自習、授業、研究等の合計時間)はどのように変化しましたか。

1. 概ね変化無い(5%減少～5%増加)
2. やや減少(6%～20%減少)
3. 減少(21%～50%減少)
4. 大幅に減少(51%以上減少)
5. やや増加(6%～20%増加)
6. 増加(21%～50%増加)
7. 大幅に増加(51%以上増加)
8. わからない

学生Q36. 将来の進路に関してお聞きします。昨年12月(感染症拡大前)に比べて、東京圏(東京、神奈川、千葉、埼玉)で就職するか、それ以外で就職するかの選択・希望に変化はありましたか。

1. 変わらない
2. 東京圏での就職志向が高まった
3. 地方都市での就職志向が高まった
4. 地方(都市部以外)での就職志向が高まった
5. わからない

学生Q37. 直近1カ月において、通学している学校で、オンライン授業を受講しましたか。

1. 通常通りの授業をオンライン授業で受講した
2. 一部の授業をオンライン授業で受講した
3. 受講していない

学生Q38. 今後、どのような頻度で学校のオンライン授業を受講してみたいと思いますか。

1. オンラインで受講できるものは、できる限り全てオンライン授業を受講したい
2. オンライン授業中心(50%以上)、対面授業併用
3. 対面授業中心(50%以上)、オンライン授業併用
4. 対面授業を受講できるものは、できる限り全て対面授業を受講したい
5. わからない

【全員の方(共通設問)】

Q39. 現在、平均して1日の間に、同居する人以外に何人と話していますか(対面、電話、ビデオ通話等を含む)。

1. 10人以上
2. 5～9人
3. 4人
4. 3人
5. 2人
6. 1人
7. 誰とも話さない

Q40. ビデオ通話(Zoom、Skype、LINE 等)の経験、関心の程度について、最もあてはまるものを回答してください。

1. 週に1回以上利用している
2. 月に1回以上利用している
3. 利用したことがあるが、頻度は少ない(月に1回未満)
4. 関心はあるが、パソコン・スマホ等の使い方が分からず利用しない
5. 関心はあるが、その他の理由で利用しない(理由:)
6. 利用したいと思わない
7. わからない

Q41. (Q40で1～5を選んだ人)今後、ビデオ通話(Zoom、Skype、LINE 等)を利用してみたいと思いますか。

1. 今後、より一層利用するようにしたい
2. 今後は利用してみたい
3. 現在のままで良い
4. わからない

Q42. 全体としての生活の満足・不満の程度についてお聞きします。「全く満足していない」を0点、「非常に満足している」を10点とすると、現在の生活は何点くらいになると思いますか。

Q43－47. 「全く満足していない」を0点、「非常に満足している」を10点とすると、以下の項目について、現在はそれぞれ何点くらいになると思いますか。

Q43. あなたの「健康状態」に関する満足度

Q44. あなたの「仕事」に関する満足度

(※)仕事には、収入を伴う仕事だけでなく、学業・家事・介護・育児・買い物などの義務的な時間を含む。

Q45. あなたの「子育てのしやすさ」に関する満足度

Q46. あなたの「交友関係やコミュニティなど社会とのつながり」に関する満足度

Q47. あなたの「生活の楽しさ・面白さ」に関する満足度

Q48. 以下の項目について、昨年12月(感染症拡大前)と比較して、「現状維持」を0点、「非常に良化している」を5点、「非常に悪化している」を-5点とすると、現在はそれぞれ何点くらいになると思いますか。

Q48－1 地域のつながりや助け合いが広がっていると感じますか

Q48－2 地球環境問題などの国際的課題への取組が広がっていると感じますか

Q48－3 職場・地域・行政等の変化が進んでいると感じますか

Q48－4 自分自身の暮らしのデジタル化が進んでいると感じますか

Q49. 感染症の影響下において、新たに挑戦したり、取り組んだりしたことはありますか。該当するもの全て選択してください。

1. 特に挑戦したり、取り組んだりしたことはない

2. ビジネス(起業、副業、新商品開発等)に新たに挑戦した

3. ビジネス関係の勉強(資格取得、スキルアップ、転職情報収集等)に新たに取り組んだ

4. 教育・学習(新しい分野、技術、語学等)に新たに取り組んだ

5. オンラインでの発信(YouTube等)、オンラインでの交流(Zoom等)に新たに挑戦した

6. 本格的な趣味(芸術、料理等)に新たに挑戦した

7. 今までやれなかった日常生活に関わること(家の修繕等)に新たに取り組んだ
8. わからない

Q50 昨年 12 月(感染症拡大前)に比べて不安が増していることがありますか。ある場合はどのような不安か、あてはまるもの全てを回答してください。

1. 不安はあるが感染症拡大前から増してはいない
2. 不安は感じていない
3. 生活の維持、収入に関する不安
4. 仕事に関する不安
5. 結婚、家庭に関する不安
6. 健康に関する不安
7. 子どもの育児、教育に関する不安
8. 親などの生活の維持、支援に関する不安
9. 人間関係、社会との交流に関する不安
10. 地球環境、地球規模の課題に関する不安
11. 将来に対する全般的な不安
12. わからない

<未婚の方>

Q51. 昨年 12 月(感染症拡大前)と比べて、結婚への関心に変化はありましたか。

1. 関心が高くなった
2. 関心がやや高くなった
3. 変わらない
4. 関心がやや低くなった
5. 関心が低くなった

<全員に質問>

就業者Q52. 地方移住への関心の程度について回答して下さい。

＜昨年12月(感染症拡大前)＞、＜本年5月(緊急事態宣言下)＞、＜現在＞

1. 強い関心がある
2. 関心がある
3. やや関心がある
4. あまり関心がない
5. 全く関心がない

＜地方移住に関心がある:Q52で「1、2、3」を選択した人＞

Q53. 本年5月以降に、地方移住に向けて具体的な行動をしましたか。当てはまるものをすべて選んでください。

1. 移住先を決定し、具体的な引っ越し予定がある
2. 移住先での就職情報を調べた
2. 移住先での住宅情報を調べた
3. 移住先の学校情報を調べた
4. 移住のための相談窓口を利用した
5. 移住に向けて家族と具体的な相談をした
6. 引越資金集めを始めた
7. その他(具体的に)
8. 具体的に行動していない

＜全員に質問＞

Q54 本年5月以降に移住(会社の転勤命令等による一時的滞在を除く)しましたか。あてはまるものに回答してください。

1. 東京圏(※1)から、東京圏以外に地方移住した
2. 都市的地域(※2)から、郊外や農村地域に移住した(1.を除く)
3. 移住した(都市部への移住等、上記にあてはまらないもの)
4. 移住していない
5. わからない

(※1)東京圏とは、東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県

(※2)都市的地域とは、周辺の地域よりも人口密度が高い地域

<Q52で地方移住に関心がある(1、2、3)とした人 又は Q54で移住した(1、2)を選択した人に質問>

Q55. 地方移住への関心が高くなった、又は移住した理由として、あてはまるものを全て回答してください。

1. テレワークによって地方でも同様に働けると感じたため
2. 買物・教育・医療等がオンラインによって同様にできると感じたため
3. 現住地の感染症リスクが気になるため
4. 感染症を契機に地元に戻りたいと感じたため
5. 人口密度が低く自然豊かな環境に魅力を感じたため
6. ライフスタイルを都市部での仕事重視から、地方での生活重視に変えたいため
7. 感染症を契機に将来のライフプランを考え直したため
8. テレビやネット等で地方移住に関する情報を見て興味を持ったため
9. 感染症と関係ない理由
10. その他
11. 特になし
12. わからない

(Q52で地方移住に関心がある(1、2、3)とした人 かつ Q54で3、4を選択した人に質問)

Q56. 地方移住や郊外への移住に関心はあるが実行していない理由として、地方移住にどのような点で懸念をもっていますか。あてはまるものを全て選んでください。

1. 仕事や収入
2. 子育て・教育環境
3. 医療・福祉施設
4. 買物や公共交通等の利便性
5. 人間関係や地域コミュニティ
6. 移住資金の不足
7. まだ具体的に検討していない
8. その他(具体的に)

9. 特にない
10. わからない

Q57 本年末から来年初にかけての帰省の予定について、あてはまるものを回答してください。

1. 帰省しない予定(例年も帰省していない)
2. 帰省しない予定(例年は帰省していた)
3. 帰省する予定(同一の都道府県内)
4. 帰省する予定(他の都道府県)
5. 決めていない

Q58 来年の初詣には、いつ行く予定でしょうか。あてはまるものを回答してください。

1. 初詣には行かない(例年も行っていない)
2. 初詣には行かない(例年は行っている)
3. 1月1日(12月31日深夜を含む)
4. 1月2日
5. 1月3日
6. 1月4日以降
7. 今年中に行く
8. 決めていない

Q59 忘年会や新年会等の会食の予定について、あてはまるものを回答してください。

1. 行く予定はない(例年も行っていない)
2. 行く予定はない(例年は行っていた)
3. 行く予定がある(去年の半分以下)
4. 行く予定がある(去年より少し少ない)
5. 行く予定がある(去年と同程度かそれ以上)
6. 決めていない

(忘年会や新年会等の会食に行く予定がある人(前問で3, 4, 5と回答)に質問)

Q60 忘年会や新年会等の会食を行う予定がある場合、その平均的な人数を回答してください。

1. 4人以下
2. 5人以上 10人未満
3. 10人以上
4. わからない

(会食に行く予定がある人に質問)

Q61 忘年会や新年会等の会食のマスク着用について、最もあてはまるものを回答してください。

1. 食事中も、会話をする時にはマスクを着用する
2. 食事中は着用しないが、席を外す時はマスクを着用する
3. 着用しない
4. わからない

(会食に行く予定がある人に質問)

Q62 忘年会や新年会等の会食において、アクリル板が設置された店を選ぶかどうか回答してください。

1. 設置されている店を選ぶ
2. 出来れば設置されている方が良い
3. アクリル板の有無は気にしない
4. 分からない

Q63 休業や勤務日制限等で収入が減少した方への支援として重要だと考えるものを回答して下さい。(最大3つ)

1. 職業紹介(マッチング等による新しい仕事探し)
2. 職業訓練(新たな資格やスキル習得による新しい仕事探し)
3. 休業者への金銭支援
4. 雇用企業への金銭支援
5. 各種相談窓口等の周知(子育て支援、心の健康、暮らしの悩み等)

6. その他(具体的に)
7. 特にない
8. わからない

Q64 休業等に伴い収入が減少した方への国の支援策として、知っているものを全て回答してください。

1. 国の休業支援金(休業手当を受け取れない中小企業の労働者等への支援金)
2. 緊急小口資金(生活資金の貸出制度)
3. 住宅確保給付金(家賃額の支援制度)
4. 税・社会保険料の減免
4. 全て知らない
5. わからない

<配偶者のいる方のみ>

Q65. 配偶者の職業についてお答えください。

1. 正規雇用(労働契約の期間の定めがなく、労働時間がフルタイムのもの)
2. 非正規雇用(正規雇用以外のパート、アルバイト、契約・派遣社員、有期労働者など)
3. 会社などの役員
4. 自営業(手伝いを含む)
5. 内職・在宅ワーク
6. 学生(高校生、専門学校生、短大生、大学生、大学院生)
7. 学生ではなく就業していない(求職中)
8. 学生ではなく就業していない(求職していない)

<学生のみ>

Q66. あなたの学業についてお答えください。

1. 高校生(年生)
2. 高等専門学校(高専)生(年生)
3. 専門学校生
4. 短大生(年生)
5. 大学生(年生)
6. 大学院生(年生)
7. その他(具体的に)

Q67. 通学している学校の所在地はどこですか。

所在地の都道府県(47 都道府県プルダウン)

<学生を除く全員>

Q68. あなたの最終学歴についてお答えください。

1. 中学卒
2. 高等学校卒
3. 専門学校卒
4. 短大・高専卒
5. 大学卒
6. 大学院修了

<就業者のみ>

Q69. あなたの勤務先の企業等の業種について、最もあてはまるものをお答えください。

1. 農林漁業
2. 建設業
3. 製造業
4. 卸売業
5. 小売業
6. 金融・保険・不動産業
7. 運輸業
8. 情報通信業
9. 電気・ガス・水道業
10. 公務員
11. 教育、学習支援業
12. 医療、福祉
13. 保育関係
14. その他のサービス業(対人サービス)
15. その他のサービス業(対事業所サービス)
16. わからない・その他

<就業者のみ>

Q70. あなた自身の仕事(職種)について、もっともあてはまるものをお答えください。

1. 管理職(役員含む)
2. 営業
3. 経理
4. 人事・総務
5. その他の事務職
6. 医療・福祉・介護職
7. 生産工程(製造、修理、検査等)
8. IT専門職
9. 建設・機械技術職
10. その他の技術職・専門職(法務・デザイン等)
11. 店舗での販売・接客等
12. その他のサービス職
13. わからない・その他

Q71. 勤務地はどこですか。

勤務地の都道府県(47 都道府県プルダウン)

Q72. 現時点の通勤時間(片道)を選択してください。

プルダウン:通勤不要 or 10分単位で選択(最大は「3時間以上」)

(就業者のみ)

Q73. 勤務先の企業規模(従業員数)について、最もあてはまるものをお答えください。

1. 1人(個人事業主)
2. 2~29人
2. 30~299人
3. 300~999人
4. 1,000人以上

＜息子・娘が18歳未満(Q2で「3」を選択)＞

Q74. あなたの子供(18歳未満の方)は何歳ですか(令和2年4月1日時点)。また、その子供の学校等を回答してください。

プルダウン1-1 選択肢

- 1 0歳
- 2 1歳
- 3 2歳
- 4 3歳
- 5 4歳
- 6 5歳
- 7 6歳
- 8 7歳
- 9 8歳
- 10 9歳
- 11 10歳
- 12 11歳
- 13 12歳
- 14 13歳
- 15 14歳
- 16 15歳
- 17 16歳
- 18 17歳

プルダウン1-2 選択肢

1. 未就園
- 2 保育園・幼稚園等
- 3 公立小学校
- 4 私立小学校
- 5 公立中学校
- 6 私立中学校
- 7 公立高校(高専)
- 8 私立高校(高専)
- 9 専門学校
- 10 働いている
- 11 その他

プルダウン2-1 ~10-1
選択肢

- 1 これ以上18歳未満のこどもはいない
- 2 0歳
- 3 1歳
- 4 2歳
- 5 3歳
- 6 4歳
- 7 5歳
- 8 6歳
- 9 7歳
- 10 8歳
- 11 9歳
- 12 10歳
- 13 11歳
- 14 12歳
- 15 13歳
- 16 14歳
- 17 15歳
- 18 16歳
- 19 17歳

プルダウン2-2 ~10-2
選択肢

1. 未就園
- 2 保育園・幼稚園等
- 3 公立小学校
- 4 私立小学校
- 5 公立中学校
- 6 私立中学校
- 7 公立高校(高専)
- 8 私立高校(高専)
- 9 専門学校
- 10 働いている
- 11 その他

＜以下全員＞

Q75. あなたの世帯は何人ですか。あなたご自身を含めてお答えください。

()人

Q76. あなたは、SNS(Facebook、Twitter、LINE など)を使用していますか。

1. 毎日使用している
2. 時々使用している
3. たまに使用している
4. 使用していない

Q77. あなたの世帯全体の年間収入(税・社会保険料込)はおよそどのくらいですか。

1. 100万円未満
2. 100万円以上 200万円未満
3. 200万円以上 300万円未満
4. 300万円以上 400万円未満
5. 400万円以上 500万円未満
6. 500万円以上 600万円未満
7. 600万円以上 700万円未満
8. 700万円以上 800万円未満
9. 800万円以上 900万円未満
10. 900万円以上 1000万円未満
11. 1000万円以上 2000万円未満
12. 2000万円以上 5000万円未満
13. 5000万円以上 1億円未満
14. 1億円以上 3億円未満
15. 3億円以上

Q78. あなた自身の年間収入(税・社会保険料込)はおよそどのくらいですか。

1. 100万円未満
2. 100万円以上 200万円未満
3. 200万円以上 300万円未満
4. 300万円以上 400万円未満
5. 400万円以上 500万円未満
6. 500万円以上 600万円未満
7. 600万円以上 700万円未満
8. 700万円以上 800万円未満
9. 800万円以上 900万円未満
10. 900万円以上 1000万円未満
11. 1000万円以上 2000万円未満
12. 2000万円以上 5000万円未満
13. 5000万円以上 1億円未満
14. 1億円以上 3億円未満
15. 3億円以上

Q79. あなたの世帯全体の金融資産(預貯金や有価証券等)は、およそどのくらいですか。
(借金を引く前の額をお答えください)。

1. 100万円未満
2. 100万円以上 300万円未満
3. 300万円以上 500万円未満
4. 500万円以上 700万円未満
5. 700万円以上 1,000万円未満
6. 1,000万円以上 2,000万円未満
7. 2,000万円以上 5,000万円未満
8. 5,000万円以上 1億円未満
9. 1億円以上 3億円未満
10. 3億円以上

Q80 出身地はどこですか。

出身の都道府県(プルダウン:47都道府県、海外、わからない)

(※)出生地、小さな頃に暮らした地域、実家のある地域等から主な都道府県を1つ選択。現住所と同じでも可。